

教科	数学	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1章 正負の数	28	①素数の意味を理解し自然数を素因数分解することができる。 ②正負の数を用いて表すことができる。 ③正負の数の四則計算ができる。 ④正負の数の四則の混じった計算をする。 ⑤正負の数を利用して解決する。	[知識・技能] ・自然数や素数の意味を理解している。 ・自然数を素因数分解することができる。 ・正の数と負の数の必要性と意味及びそれらの四則計算の意味を理解している。 ・正の数と負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正の数と負の数を使って表したり処理したりすることができる。 [思考・判断・表現] ・公約数や公倍数の求め方を、素因数分解と関連づけて考えることができる。 ・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算のしかたを考え表現することができる。 ・正の数と負の数を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・自然数や素数に関心をもち、そのよさに気づいて粘り強く考えたとともに、素因数分解を利用して公約数や公倍数を求めることに生かそうとしている。 ・正の数、負の数のよさに気づいて粘り強く考えたとともに、正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、正の数と負の数を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
2章 文字と式	18	①文字を使い、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。 ②文字式での積、累乗や商の表し方にしたがって、式を表すことができる。 ③1次式の加法や減法の計算、1次式と数の乗法と除法の計算ができる。 ④本数や割合、速さに関する数量を文字を使った式で表すことができる。	[知識・技能] ・文字を使うことの必要性と意味を理解している。 ・文字を使った式における乗法と除法の表し方を理解している。 ・簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを文字を使った式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを式を使って表したり読み取ったりすることができる。 [思考・判断・表現] ・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考え、表現することができる。 ・数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・文字を使うことのよさに気づいて粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、文字を使った式を利用して、問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
3章 方程式	14	①方程式とその解、解くことの意味を理解する。 ②移項を使って、方程式を解くことができる。 ③かっこをふくむ方程式や係数に小数をふくむ方程式、係数に分数をふくむ方程式を解くことができる。 ④具体的な問題を、方程式を利用して解決することができる。 ⑤比例の意味とその性質を理解し、比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。	[知識・技能] ・方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 ・簡単な1元1次方程式を解くことができる。 [思考・判断・表現] ・等式の性質をもとにして、1元1次方程式を解く方法を考え、表現することができる。 ・1元1次方程式を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・1元1次方程式のよさに気づいて粘り強く考え、1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、1元1次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
4章 比例と反比例	22	①比例の関係を式に表す。 ②座標を求めたり点で表したりする。 ③表、式、グラフの関係を理解する。 ④反比例の関係を式に表す。 ⑤表、式、グラフの関係を理解する。 ⑥身のまわりの問題を比例や反比例の関係、比例のグラフを利用して解決することができる。	[知識・技能] ・関数関係の意味を理解している。 ・座標の意味を理解している。 ・比例、反比例の意味について理解している。 ・比例、反比例の関係を表、式、グラフなどに表すことができる。 [思考・判断・表現] ・比例、反比例としてとらえられる2つの数量について、表、式、グラフなどを使って調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を使って具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・比例、反比例のよさに気づいて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、比例、反比例を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
5章 平面図形	18	①平行、対称、回転の3つの移動の意味を理解する。 ②垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。 ③おうぎ形と中心角の意味を理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求める。	[知識・技能] ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などを作図することができる。 ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 ・図形を平行移動、対称移動、回転移動させることができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求め方を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 [思考・判断・表現] ・図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考え、表現することができる。 ・図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考え、表現することができる。 ・基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・平面図形の性質や関係をとらえることができることのよさに気づいて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、作図や図形の移動を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
6章 空間図形	18	①多面体、正多面体、角錐、円錐の意味とそれらの特徴を理解する。 ②空間内にある直線と平面の意味、平面と平面、平面と直線、直線と直線の位置関係、直線と平面の垂直を理解する。 ③角柱、円柱、角錐、円錐の展開図とその特徴を理解する。 ④角錐、円錐、球の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	[知識・技能] ・空間における直線と平面の位置関係を理解している。 ・基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 ・角錐、円錐の展開図、立体の投影図をかくことができる。 [思考・判断・表現] ・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面での表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考え、表現することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・空間図形の性質や関係をとらえることのよさに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうしたり、空間図形の性質や関係を利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。

<p>7章 データの分析と活用</p> <p>12</p>	<p>①度数分布表やヒストグラム、相対度数、累積度数、代表値の必要性と意味を理解し、それらを利用して資料の傾向を読み取ることができる。</p> <p>②問題を解決するために、資料を採取して整理し、資料の傾向をとらえ説明できる。</p> <p>③確率の意味を理解し、多数回の実験の結果をもとにして、確率を求めることができる。</p>	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。</li> <li>・表やグラフに整理したり、範囲や代表値などを求めたりすることができる。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。</li> <li>・相対度数を計算して確率を求めることができる。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し、判断することができる。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、それらを利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたり、多面的にとらえ考えようとしたりしている。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、それらを利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしたりしている。</li> </ul>
-------------------------------	---	--